

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 529 号	氏名	山田 康一
学位審査委員	主 査 西田 教行 副 査 大園 恵幸 副 査 永安 武		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、肺炎球菌性肺炎における急性肺障害に対し、新規好中球エラスターゼ阻害薬投与が効果的であるかどうかを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>マウスを用いて肺炎球菌性肺炎モデルを作成し、新規エラスターゼ阻害薬 KRP-109 を投与し、生存率、肺障害の病理学的比較、気管支肺胞洗浄液 (BALF) 中の細胞数およびサイトカイン濃度を比較したもので、適切な対照群との統計学的解析を行っており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、新規エラスターゼ阻害薬 KRP-109 が肺組織への移行性に優れ、肺炎球菌性肺炎において好中球浸潤を抑制し、インターロイキン 1β (IL-1β) の産生を抑制することを見出した。生存曲線には統計学的に有意差を認めなかったものの、肺組織破壊度は明らかに KRP-109 投与により軽度になっていることを見出し、他のエラスターゼ阻害薬による効果との比較など十分に考察を行っている。今後抗生剤との併用による効果検証研究を行うことで、臨床応用への進展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は呼吸器感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			